

第4部

地域の特性と 発展の方向性

地域の特性と 発展の方向性の概要

上田中央地域
上田西部地域
上田城南地域
神科・豊殿地域
塩田地域
川西地域
丸子地域
真田地域
武石地域

地域の特性と発展の方向性の概要

策定の趣旨

「地域の特性と発展の方向性」は、自然や文化などそれぞれの地域の特色や個性を生かしながら、将来の発展に向け、地域が取り組むまちづくりの方向性を示すものです。

市民、事業者、行政などが地域の特性を理解し、地域が目指すまちづくりの姿の共有が図れるよう総合計画の中で位置付け、地域内分権推進の取組において、各地域のまちづくり計画の策定を進めていきます。

地域の特性

自然・文化・生活環境など地域の特性を示します。

発展の方向性

地域が目指すまちづくりと取組の方向性を示します。

ここでは、課題解決に向けた地域住民による自主的な活動のほかに、道路網整備や地域経済活性化など、市民・事業者・行政といったそれぞれの主体による検討・調整を踏まえ実施する事業も含めて掲載し、取組の方向性をよりわかりやすく示しています。

地域区分と策定の手順

【1】 地域区分

地域協議会の設置区域に基づき、9つの地域区分ごとに策定します。

地域の名称	地域協議会	区 域
上田中央地域	上田中央地域協議会	東部、南部、中央、北部、神川地区
上田西部地域	上田西部地域協議会	西部、塩尻地区
上田城南地域	上田城南地域協議会	城下、川辺・泉田地区
神科・豊殿地域	神科・豊殿地域協議会	神科、豊殿地区
塩田地域	塩田地域協議会	東塩田、中塩田、西塩田、別所温泉地区
川西地域	川西地域協議会	川西地区
丸子地域	丸子地域協議会	丸子地区
真田地域	真田地域協議会	真田地区
武石地域	武石地域協議会	武石地区

【2】 策定の手順 —地域協議会への諮問と答申—

策定にあたっては、市長が「地域の特性と発展の方向性」について各地域協議会へ諮問し、地域協議会での検討を経て答申された内容を尊重し総合計画に掲載しています。

期間

【第二次上田市総合計画 後期まちづくり計画】に合わせ、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

上田中央地域

地域の特性

1	上田駅を中心に市街地が形成された本市の玄関口
2	上田城跡や信濃国分寺など上田市を代表する歴史的遺産を擁した市の中心地域
3	サントミュージーゼをはじめとする文化施設や信州大学などの教育施設が集中する地域

発展の方向性 〈まちづくりの基本的方向性〉

1	玄関口としての都市機能の充実と市街地の活性化を総合的に推進します。
2	歴史的資源や豊かな自然環境を保全・活用した賑わいと交流の拠点を目指します。
3	市民や来訪者が行き交うまちづくりを目指します。

〈取組の方向性〉

取組の内容	視点・要素
① 新市の核となる都市機能の充実と中心市街地の活性化	中心商店街の賑わい創出と、交流文化施設周辺と融合した新しいまちづくり
	居住満足度を高めて、上田駅周辺を拠点とした地域内外の交流を促進する整備のあり方を研究し、空き家・空き店舗対策を含めた新たな市街地の活性化と商業・観光の振興を一体的かつ総合的に推進
	都市環状道路や上田駅を基点とする交通網などの基盤整備を行うほか、市街地内の回遊性向上を図り、散策したくなるまちづくりを推進
② 歴史遺産との融合・調和を図るまちづくり	公共施設の充実を図るとともに「街なか」居住の推進と、住民や事業者の連携・交流による地域活力の向上
	数多く残る歴史遺産の価値を再認識し、観光振興に生かすとともに、こうした遺産との融合・調和を図り誇りをもてるまちづくり
③ すべての人々にとって安全・安心なまちづくり	歴史的文化遺産ともいふべき、地名などについての認識を深めて、地元住民の意見を聞きながら、歴史的地名などを後世に残すまちづくり
	地域住民を中心に交番や防犯関係団体、防災関係団体、ボランティア、PTAなどの連携と絆を深めて、住民の安全意識の高揚を図り、地域ぐるみの安全体制づくりを推進
④ 自然環境の保全と共生によるまちづくり	千曲川をはじめとする神川、矢出沢川などの水辺空間や特色ある景観である染屋台の斜面樹林などの河岸段丘を保全し、豊かな自然を活用し市民に憩いと潤いを与え、防災と減災を備えた、災害に強い地域づくり
	花と緑があふれる歩いて楽しい空間の創造 子どもたちに自然を大切にすることを教えることができる環境の整備
⑤ 保健・福祉・医療活動のさらなる充実と人的資源の活用	保健福祉施策や子育て支援策の推進、医療体制や介護体制の整備など、あらゆる世代の健康増進や地域福祉施策などを推進し、上田市全体の保健・福祉・医療のネットワークの充実
	子どもがのびのびと成長できて、高齢者・障がい者にやさしいまちづくりを進めるとともに、住民との協働による福祉活動の推進
⑥ 地域コミュニティを中心とした協働による地域を誇れるまちづくり	複雑多様化する地域課題を適切に解決していくために、住民・各種団体・行政の協働による新たなまちづくり
	各種団体や個人などが、各種地域課題への解決に向けた対応や、生涯学習*などへ積極的に参加できるように支援するとともに共助、協働による地域住民が誇れるまちづくりの推進
⑦ 産学官連携支援施設や伝統工芸など地域の特性を生かした産業の振興	産学官連携支援施設との連携を通じた大学や市民などとの協力体制の強化、新技術・新産業創出に向けた取組の展開、「地産地消」を推進し近郊農業の生産意欲の高揚
	農民美術、上田紬などの伝統工芸や蚕都上田として栄えた歴史的文化に触れながら、地域に伝わる地場産業の振興や、後継者の育成、技術の継承

上田西部地域

上田城南地域

地域の特性

1	太郎山山系から千曲川まで広がる地域で、中央部を国道18号としなの鉄道及び新幹線が通過
2	旧北国街道沿いは歴史的建造物が今も残る閑静な住宅地
3	優良農地の一部集積や大規模な工場がみられるが近年空地化や荒廃化が進行
4	卸団地などの商業・業務施設が数は減少傾向にあるが存在し、国道沿いなどには商業施設が進出
5	上小地域の医療の中核を担う信州上田医療センターが所在する地域
6	地域全体の高齢化が進行している地域

発展の方向性 〈まちづくりの基本的方向性〉

1	歴史的、文化的資源を保全しながら、恵まれた環境を生かすとともに、商業機能などを活用し、賑わいを創出するまちづくりを目指します。
2	太郎山や千曲川、農地などと調和した落ち着いた生活環境の中で、住民が健康で元気なまちづくりを目指します。
3	地域の利便性向上のために、安全な交通環境の整備を進め、快適に暮らせるまちづくりを目指します。

〈取組の方向性〉

取組の内容	視点・要素
① 災害に強く、安心して暮らせるまちづくり	地震や風水害などに対する地域の防災機能と災害対策の強化 西部公民館を地域防災拠点施設として位置付け、整備し防災機能を強化 ハザードマップなどにより住民に対する防災啓発を促進するとともに、消防団と自治会の連携を強化 塩尻地区の水害に対する防災対策の推進
② コミュニティ活動と住民主体のまちづくりの推進	西部公民館を拠点として地域住民が主体となったまちづくりを進めるため、西部地域まちづくりの会をはじめ地域協議会、自治会、各種団体などとの連携や行政との協働を推進し、様々な課題の解決やまちづくりのあり方を協議・検討 公民館などを活用した自由なコミュニティ活動の場の確保とSNSを活用した活動情報の発信
③ 歴史的遺産などの積極的な活用による地域の振興	地域資源の調査を行い、必要なものの保全を図るとともに、観光資源につなげていくなどの活用を推進 地域の伝統文化や昔から伝わる行事の継承を推進
④ 地域が誇れる自然環境の保全、整備と有効活用	矢出沢川沿いの遊歩道、公園、北国街道、歴史の散歩道、山城などを生かしたトレッキングコースを設定し、新たな観光資源の創出や健康づくりへ活用 山林、里山や水辺環境、公園・緑地など、自然とのふれあいの場を整備し、自然との共生と自然を生かした地域の活性化
⑤ 地域防犯力を生かし、安全で快適なまちづくり	地域・行政などとの連携により「地域防犯力」を高め、「温かいまなざしが深まる地域」として、安全に暮らせるまちづくりを推進 「あいさつの飛び交う地域づくり」を進めるとともに、住民参加による花づくりや緑化、幹線道路の渋滞解消や周辺道路の安全対策、また、きれいな水と空気など、より良好な地域生活環境を形成 歩道と車道を区分し、通学路の安全や高齢者の外出を促進しやすい地域に向けての環境づくり
⑥ 多様な地域の資源を活用し、将来を担う子どもたちを地域ぐるみで育てるまちづくり	子どもが自然に親しめる環境を整備し、自然に親しみ、郷土の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りを持てる子どもたちを育成 学校と地域が連携し、地域ならではの行事への参加や伝承を通し、地域ぐるみで子どもの郷土理解と育成を推進 「地域子育て力」を高め、子どもたちの明るく元気な声がまち全体に響きわたり、子どもたちがたくましく生きるまちづくり
⑦ 世代間交流が活発に行われ、コミュニティの確立を目指すまちづくり	学習会・講演会やスポーツ、遊びなどを通し、子どもからお年寄りまで世代を越えた交流を深め、住民自治の推進及び「地域連帯力」の向上とコミュニティの活性化 少子高齢化や人口減少、それに伴う空き家の増加などを見据え、自治会を越えた地域間の協力や行政との連携を推進
⑧ 地域が一体となり高齢者や障がい者を支え、誰もが安心して暮らせるまちづくり	自治会をはじめNPOやボランティア団体などを核として、住民と地域の医療機関などとの協働によりさらなる福祉活動を展開 高齢者や障がい者を地域全体で支え、誰もが安心して暮らせるまちづくり ボランティア活動を周知し、地域住民の潜在的な力を発揮してもらう仕組みづくり
⑨ 地域の特色を生かした産業の振興	地域に根ざした伝統工芸や地場産業の振興や商工業の発展と高齢者、障がい者など買物弱者への支援を視野に、日常生活に必要な地元商店の振興 農地の有効活用を進めるとともに、地産地消の推奨や、獣害対策としてジビエ*の消費拡大など、生産者と行政・各種団体が協力し合い、農業生産活動を地域ぐるみで促進

地域の特性

1	国道143号、主要地方道上田丸子線などの幹線道路、さらには別所線が通る交通利便性の高い地域
2	千曲川や半過岩鼻をはじめ上田原古戦場など、原風景が多く残る地域
3	幹線道路沿いには商業系施設が立地
4	生活利便性が高く宅地化が進む一方で、多くの空き家が存在、また、農地と宅地の混在、農地の荒廃が進む地域
5	県営上田野球場や多目的グラウンドなど、スポーツ施設が集積している地域
6	防災倉庫、ヘリポートなど防災機能を備えた「上田 道と川の駅」が立地

発展の方向性 〈まちづくりの基本的方向性〉

1	城南地域が「住んでよし、訪れてよし」と感じられ、人の姿の見える魅力あるまちづくりを進めます。
2	千曲川をはじめ産川や浦野川、小牧山や上田原古戦場、半過岩鼻など奇景や原風景の残る豊かな自然や農地を大切に保全するとともに、秩序ある都市空間づくりを進めます。
3	良好な住環境を保全していくため、住宅と農地の混在抑制や景観形成に配慮し、多様な商業環境と調和した快適に暮らせるまちを目指します。
4	別所線など公共交通を活用しながら、地域の生活利便性の向上を図るとともに、渋滞緩和や歩行者・自転車などの安全性に配慮した、道路交通環境の整備を進めます。
5	農地の保全による保水機能の保持など、雨水の流出抑制対策を進めます。

〈取組の方向性〉

取組の内容	視点・要素
① まちづくり活動拠点の活用と住民が主体となった地域づくりの推進	城南公民館を地域コミュニティ拠点とした、住民自治組織など、様々な関係者の協働による住民主体の地域課題の解決、地域の個性を生かした持続可能な地域づくりの推進 安全・安心な生活ができるように住民自治組織、自治会など、様々な機関の協働による、地域防災力向上に向けた自主防災活動の実践的な取組の推進
② 「上田 道と川の駅」を活用した地域振興の推進	千曲川・半過岩鼻などの自然環境、上田原古戦場・天白山などの歴史的資源及び芝生広場・ウォーキングコースなどの公園施設を生かした観光振興の推進 各種イベントを通じたPR活動と情報の発信 地域ブランドとなる農水産物を発掘して6次産業化*、販路拡大を推進
③ 人や自然にやさしい交通機能の整備	幹線道路の歩道整備、主要な生活道路の整備など、誰もが安心して移動できる道路環境づくりの推進 既存の公共交通の利用促進とともに、デマンド交通*の導入など、利便性が高く、誰もが使いやすい新たな公共交通のあり方を検討 別所線の存続に向け、運行の安全確保への支援やパークアンドライド、バリアフリー化など利便性向上の研究・検討、利用啓発など利用促進活動の推進
④ 高齢者や障がい者を支える地域包括ケアシステム*構築と保健福祉環境の整備	健康寿命延伸を目指した健康づくり、生きがいづくり、社会参加づくりの基盤整備の推進 災害緊急時や日常生活において、要援護者に対し地域住民が支援を進めるための住民支え合いマップの整備充実 地域包括ケアシステムの構築に向け、自助とともに地域の互助の精神を大切に地域づくりの推進
⑤ 地域で子どもを育てるまちづくり	家庭、地域、学校が連携し、地域全体で子どもを育てる環境づくりを実践 公民館を拠点とした子育てグループの育成と子ども達の社会力、学習力向上の支援 核家族化の進行に伴う、放課後や休校日の安全な児童の交流と学習場所の確保
⑥ 自然との共生を目指す里山の再生と農地の保全	里山や千曲川などの自然環境の再生、保全活動の推進 適切な土地利用のルールづくりを進めながら、優良農地の保全と遊休荒廃農地の有効活用を推進 地域の土壌に適した農作物の発掘とブランド化
⑦ 歴史的・地域的資源の保全と活用	地域の歴史や文化を伝承し、地域に誇りと愛着を持ち歴史的・地域的資源の保全を推進 歴史的資源を活用し、地域住民同士の交流を通し、いきいきと生活できる地域づくりの支援

神科・豊殿地域

地域の特性

1	上信越自動車道上田菅平インターを中心とした、上田市の玄関口
2	神川両岸の台地には、水稲、果樹栽培を中心とした農地が広がる
3	砥石米山城跡、矢沢城跡などの歴史資源、神川、太郎山、稲倉棚田などの自然資源を有する
4	神科地域では住宅や事業所が増加し都市的利用が拡大傾向、豊殿地域では貴重な交通機関の循環バスを地域自ら運営

発展の方向性 〈まちづくりの基本的方向性〉

1	神川の緑豊かな水辺空間をはじめ里山や田園空間など、かけがえのない自然環境を大切に保全し、まちづくりへの活用を目指します。
2	広域交通の結節点である上田菅平インターを上田市の玄関口として、史跡や田園、自然資源など地域資源の連携と活用により産業・観光振興や地域間交流の促進を進めます。
3	良好な田園居住環境の形成を図りながら、道路・公共交通など交通環境整備を進めて、子どもから高齢者まで安心して快適に暮らせる住みよいまちづくりを目指します。

〈取組の方向性〉

取組の内容	視点・要素
① 地域の交通ネットワークの整備促進	国道144号、国道18号バイパスの整備 県道下原大屋停車場線、小諸上田線・矢沢真田線の改良促進 地域内道路について、狹隘・危険箇所、大雪や小中学生の通学路の歩道に留意して整備
② 地域の公共交通と、将来に向けた地域循環バスなど新たな地域内交通の充実	人口の高齢化に対応した公共交通機関の充実 豊殿地域で自主運営している循環バスの充実と支援 地域内交通の将来にわたる維持と、交通体系の見直し
③ 地域に根ざした医療・福祉の充実と地域内ボランティア活動の充実	地域内の福祉施設や医療施設との連携 地域住民を相互に支えるボランティア活動体制の構築 高度医療施設、緊急医療体制の拡充 要支援者・高齢者のためのマップや仕組みの構築と運用の充実
④ 神川河川流域の保全整備	豊かな自然環境をもたらす神川の保全と災害に強い護岸整備 河川空間を保全し、自然に親しめる環境の維持
⑤ 地域の子どもは地域で育てる活動の推進	将来を担う子どもを家庭・地域・学校が連携して地域全体で子どもを育てる活動を推進 地域の育成会のあり方の検討 学校と地域住民の協働による学校づくりの推進 地域の声を取り入れた学校建設の推進
⑥ 地域の農業振興と地域内の財産・資源の活用	適切な農地の維持管理を行いながら、優良農地の保全と荒廃農地の防止・農業後継者の育成や新規就農者の条件整備 滞在型観光や都市住民に農業体験や収穫の喜びをもたらすクラインガルテン*の推進 地域の財産である砥石米山城跡、矢沢城跡、稲倉棚田、伊勢崎城跡、矢花古墳群、岩門城跡などを再認識・再発見し、広く発信
⑦ 市民の森・わしば山荘の利用促進	市民の森公園の広域的利用を促進 市民の森公園の計画的整備・活性化

塩田地域

地域の特性

1	重要な観光資源である別所温泉と信州の鎌倉と称される多くの史跡・文化財の集積
2	塩田平のため池群に代表される美しい田園風景
3	恵まれた自然環境と穀倉地帯である農業基盤
4	大学・研究施設と企業の集積
5	観光にも生かされ、地域住民の貴重な公共交通機関でもある別所線電車

発展の方向性 〈まちづくりの基本的方向性〉

1	豊富な資源と貴重な財産を見つめ直し、観光振興に生かします。
2	貴重な史跡・文化財を保全し、次世代へ継承します。
3	自然環境の保全とかがい施設の整備を促進します。
4	大学・研究施設などの立地を生かした連携事業を推進します。
5	歴史・自然・生活が調和した秩序ある土地利用を推進します。
6	生涯学習*活動の活性化により、健康で文化的な生活や次世代の健全育成及び定住促進に向けた活動を推進します。
7	安全・安心で充実した生活の実現に向けた環境整備を進めます。

〈取組の方向性〉

取組の内容	視点・要素
① 地域特性を生かした観光振興	史跡や文化財を結ぶ道路・遊歩道の整備など、観光ルートの整備を促進 別所温泉や史跡、文化財などの観光資源を活用した誘客・交流事業の推進 観光ボランティアの育成、体験交流の受入れなど、官民一体となった観光誘客の体制づくり
② 史跡・文化財の保全と次世代への継承に向けた取組の推進	史跡・文化財の保護保全に取り組む地域団体との連携協力の促進 学校支援や各種イベント事業を通じた子どもたちへの地域学習の推進 ため池の持つ多様な機能の検証と継承に向けた取組の推進
③ 農業及び林業と調和した生活空間の整備促進	ため池などのかがい施設の整備促進と遊休農地の再生などによる農業基盤の確保 松茸山をはじめとする松林保全及び処理木撤去など松くい虫対策事業の推進 水源涵養、登山や森林浴など森林レクリエーションに対応する森林整備の推進 里山・水辺などの環境保全に係る活動の推進
④ 大学・研究施設などとの連携促進	大学・研究施設・企業との交流連携の強化 産・学・官・民の連携による地域情報の積極的発信
⑤ 歴史・自然・生活が調和した計画的な土地利用の推進	都市的発展を促す区域と農業的に利用する区域を区分した秩序ある土地利用調整の推進 都市的発展を促す区域における住民の暮らしの利便性と地域の景観に配慮した土地利用の促進
⑥ 若者も住みやすい健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進及び定住の促進	公民館を中心とした生涯学習活動の充実に向けた環境整備の推進 総合型地域スポーツクラブ*などとの連携を通じたスポーツによる健康づくりの推進、スポーツ施設の充実 こども食堂などの子育て支援、次世代の健全育成に向けた活動の推進
⑦ 安全・安心で快適な生活環境の整備促進	都市環状道路を含めた幹線道路網整備と既存道路における歩道を含めた整備の計画的推進 上田電鉄別所線の存続のための活動及び公共交通の利用促進 地域における防災、防犯、福祉ネットワークなどの体制づくりを通じたコミュニティの再生と充実

川西地域

地域の特性

1	里山に囲まれ、室賀川、浦野川の流域に広がるのどかで自然豊かな田園地域
2	子どもから高齢者までお互いを大切にできる地域
3	東山道と室賀峠の街道（善光寺道）に由来する古刹や史跡が多く点在する地域
4	豊かな湯量を誇る室賀温泉ささらの湯がある安らぎの地域

発展の方向性 〈まちづくりの基本的方向性〉

1	森林や河川、田園に囲まれた美しい風景や自然環境を守り、伝統文化や伝統行事を次世代に伝えます。
2	自然と人との調和が取れた環境を整え、子どもから高齢者までお互いに支え合いながら住みやすい環境づくりを進めます。
3	史跡や温泉などの地域資源の有効活用を進めます。

〈取組の方向性〉

取組の内容	視点・要素
① 地域づくりと生涯学習*の推進	地域自治センターを拠点とした住民主体による地域づくりを推進するとともに、公民館と連携して地域の歴史・文化・自然などを生かした生涯学習を推進
② 住む人にやさしく災害に強いまちづくり	住み慣れた地域で安心して生活できる医療・保健・福祉の充実
	交通弱者に対する移動手段の確保に向けた取組
	土砂災害や水害などの自然災害を未然に防ぐ被害防止策の推進
	地域内自主防災組織による防災意識を高める活動の実施
国道143号線、県道真田新田線、県道上室賀坂城停車場線の整備促進	
③ 農業を主体とした産業の振興	鳥獣被害対策と耕作放棄地の利活用の促進 農業・林業の担い手確保と農地・森林など地域資源の有効活用の検討
④ 地域ぐるみで子育てを推進	将来を担う子どもたちを公民館、自治会、小中学校、保護者会などの関係団体や地域住民が連携して育てる活動の推進
	地域の歴史や文化への理解を深める事業や地域の自然と触れ合う活動の推進など、地域とともに育つ環境の整備
⑤ 交流・体験を中心とした地域おこし	地域で活動する諸団体と連携を図りながら、豊かな自然環境を生かし、都市部などの子どもたちや外国人との交流事業を推進
	都会など他地域からの移住を促進する交流・体験事業などを展開し、地域の活性化を推進

丸子地域

地域の特性

1	依田川を中心に、水と緑の豊かな自然環境に恵まれた地域
2	国道152号や254号が通る交通の要衝
3	高い技術力を持つ製造業の集積地
4	丸子温泉郷や信州国際音楽村などの観光地が点在
5	地域の中心部には都市機能が集積し、沿道型市街地を形成

発展の方向性 〈まちづくりの基本的方向性〉

1	自然環境や美しい景観を保全しながら依田川、内村川周辺に親水空間を創出し、地域資源の有効活用を進めます。
2	職住近接のゆとりある生活空間創出や健康都市*の実現を目指すとともに、日常生活や観光・流通のための道路整備を進めます。
3	丸子温泉郷や信州国際音楽村、梶子ワイナリー、あさつゆなどの観光・文化資源を効果的に連携させながら、地域内外の交流を促進します。

〈取組の方向性〉

取組の内容	視点・要素
① 参加と協働による住民自治の推進	先人からの進取の精神を受け継ぎながら、社会情勢の変化に対応し、地域の知恵と情熱そして未来へ向けた行動力を結集し、新たなまちづくりを推進
	少子高齢化に対応するため、地域の実情に沿って行政と市民の協働による安全・安心で、満足度の高い地域づくりを推進
	地域の特色と、人のつながりを大切にし、住み続けたいと思える豊かな地域づくりの推進
② 自然環境の保全と人々が共生できる地域づくり	豊かな自然環境に感謝する気持ちを広げながら、多様な機能を持つ河川や森林、里山の積極的な整備を継続
	依田川・内村川沿川を健康づくり事業の拠点に位置付け、健康都市実現に向けた各種事業を推進
	丸子修学館高校、上田市商工会及び上田市とのパートナーシップ協定に基づき、交流促進、相互協力、人材育成を目的とした地域づくりの推進
	文化遺産、近代化遺産を活用し、丸子地域を再確認し、誇りの持てるまちづくりを推進
③ 軽快な交通ネットワークの整備	事業化が始まっている国道254号バイパスのさらなる推進と防災拠点となる休憩所の整備とともに、国道152号丸子バイパスの早期事業化を国や県に働きかけ、「上田地域30分（サンマル）交通圏*構想」を促進
	幹線道路に接続する生活道路の交通環境の整備を進め、循環・交流を促進し生活環境の向上と安全で安心して暮らせるまちづくりを推進
	住民の身近な公共交通である路線バスを維持するとともに、地域主導型公共交通の整備を推進
④ 連携による次世代産業の創出と創業・雇用の促進	地域の技術力を生かした新産業の創出や研究開発型企業への支援を推進し、創業の増加や新たな雇用の拡大により、職住近接のゆとりある地域づくりを促進
	様々な企業や団体、大学などの協働や産学官連携の交流促進などにより、製造業の潜在力を引き出すとともに高度化を図り、持続的成長を促進
	事業承継や地域内受注発注体制の拡大を支援し、産業競争力を強化
⑤ 地域資源を生かした新たな観光や産業の創出	丸子温泉郷の特徴を生かしつつ、新たな地域資源の特性を生かしながら、農・商・工・観・医・学と連携させ魅力ある観光地づくりを推進
	活気のあるまちづくりに向け、中心市街地の実情を把握しながら産学官及び異業種間の連携を推進し、地域資源の掘り起しや有効活用策の検討を促進
	梶子ワイナリーを核とした、陣場台地一円の整備と地域活性化を推進
	6次産業化*に取り組み、地域資源の有効活用や地域全体の産業発展を促進
⑥ 健康都市の実現	次世代を担う子どもたちを安心して産み、育てられる環境整備を進めながら、子育てサロンや子育て支援センターの充実を図るとともに、地域の支援協力を継続し、地域ぐるみの子育て支援を推進
	健康寿命延伸のため、住民参加型事業の充実を図り、介護予防事業やウォーキングを中心とした健康づくりを推進
	災害時の避難困難者を守るため住民支え合いマップの取組を推進し、自治会との連携を図りながら、高齢者や障がい者が生きがいをもち、安心して暮らせる地域づくりを推進
⑦ 生涯学習*拠点の有効活用	生涯学習事業への参加者増加を促進するため、地域内施設を効果的に活用
	文化活動団体と連携し、各種団体の育成・交流の推進と利用者の満足度の向上を促進するため地域内施設の情報連携を強化
	信州国際音楽村を文化と賑わいの拠点とし、梶子ワイナリーなどの観光事業と連携を図るとともに施設整備を推進

真田地域

地域の特性

1	真田氏発祥の郷として歴史に培われた数多くの歴史・文化資源が点在
2	上信越高原国立公園に位置する菅平高原をはじめとする雄大な自然環境
3	四季を通じ、若者から高齢者まで幅広い世代を惹きつける菅平高原スポーツリゾート
4	自治センター周辺に公益・公共施設が集積し、地域南部は宅地化が進行
5	福祉施設が数多く点在し、地域で支え合う福祉活動が盛ん
6	自然環境の特性を生かした農産物の生産、地域営農集落組織による多様な取組

発展の方向性 〈まちづくりの基本的方向性〉

1	地域の豊かな自然環境を活用しながら大切に保全し、後世に伝えます。
2	魅力的な地域資源と特性を連携させ、地域の振興を図り、交流人口の拡大につなげます。
3	市街地近郊の魅力ある居住空間として、多世代が健康で快適に安心して暮らせるまちを目指します。
4	住民一人ひとりが自主的に学び、考え、行動するまちを目指します。

〈取組の方向性〉

取組の内容	視点・要素
① 全員参加による地域づくりの推進	<p>新たな住民自治組織を周知し、参画を促すとともに、自治会や各種団体、住民との連携・協働による、地域の個性・特性を生かした魅力あるまちづくりの推進</p> <p>「地域づくり委員会」を継続し、充実・発展を図り、協働による住みやすく潤いあるふるさとづくりの推進</p> <p>地域資源を生かした住民参加の地域づくりを推進し、ふるさとの魅力を高め、交流人口の拡大と、定住の促進</p>
② 安定した魅力ある農業の推進	<p>低コストで生産性の高い農業経営や地域ブランドの確立、6次産業化*の推進により、持続可能な農業を構築</p> <p>農地の遊休化抑止に向け、多様な担い手の育成や確保とともに、基盤整備と集積化の推進</p> <p>観光産業との連携した農園での体験交流や地元農産物の直売とともに、地域食材を生かした地産地消の促進により、次代へつなぐ農業の推進</p>
③ 地域資源を生かした観光振興	<p>「観光のまちづくり」を目指し、地域全体での「おもてなしの心」を育む研修や実践活動と真田氏発祥の郷としての歴史や自然環境を生かした参加・体験型観光の推進</p> <p>菅平高原の自然環境と「スポーツ合宿の聖地」としての特性を生かした、「スポーツ・健康」を軸に、インバウンド*も視野に入れた一年を通じた誘客の促進</p> <p>長野県で開催予定の国民体育大会では、菅平高原がラグビー競技の会場となることから、国体に向けた受入れ環境の整備促進</p>
④ 地域の活性化に向けた交通ネットワークの整備	<p>上信自動車道建設促進や国道144号及び406号など地域の主要幹線道路の整備</p> <p>地域住民の生活道路の安全確保と観光、農業振興を図る道路整備</p> <p>将来にわたり公共交通機関を存続していくための取組</p>
⑤ 安心して暮らせる地域づくり	<p>地域で安心して生活ができる医療と介護が充実し、保健・医療・福祉が連携したまちづくりの推進</p> <p>安心して子どもが育ち、育てることができ、地域みんなで支え合う福祉のまちづくりの推進</p> <p>災害などの緊急時における情報収集・伝達など、「地域ネットワーク」の多様化・多重化による充実</p> <p>自主防災組織と消防団が連携し、自らの地域は自ら守る「自主防災体制」の確立</p>
⑥ 地域に根ざした生涯学習*と生涯スポーツの促進	<p>地域の歴史、文化、自然を活用し、誰もが学べる生涯学習の推進</p> <p>生涯を通じて健康で豊かな日々を過ごすため、スポーツに親しむことができる環境の整備</p>

武石地域

地域の特性

1	美ヶ原高原の雄大な自然と心安らぐ田園風景
2	医療・保健・福祉・介護が一体となった潤いと温かみのある地域
3	安全な農畜産物と営農組織や担い手農家などの活力ある農業
4	美ヶ原高原、余里一里花桃の里、武石栗栗深谷緑の広場、武石番所ヶ原スキー場、温泉など多彩な観光資源
5	御柱祭とお練り、火渡り刃渡りの一心様など伝統文化の里
6	カジカの棲む武石の清流、松茸の宝庫の山々など自然の恵みを育む環境
7	少子高齢化の進行や地域外への流出による人口の減少

発展の方向性 〈まちづくりの基本的方向性〉

1	美ヶ原高原と、そこに連なる山々の大自然や心安らぐ田園風景を大切に守り育てていきます。
2	地域住民の連携と自主的な活動を支援し、協働により環境保全や農業・商工業・観光業の活性化を目指します。
3	自然を生かした交流施設や農村環境を都市や地域内外との交流・体験の場として活用し、交流人口の増加を目指します。
4	公共交通と地域医療を維持し、誰もが住みやすい安心で快適に暮らせる地域を目指します。
5	地域全体が子どもを守り育てる地域づくりを目指します。

〈取組の方向性〉

取組の内容	視点・要素
① まちづくり活動拠点の整備と参加と協働による地域づくりの推進	<p>コミュニティ活動の拠点となる武石地域総合センターの有効かつ効率的な活用を図り、地域活力ある賑わいを創出</p> <p>住民自治組織やまちづくり団体、企業など、地域が一体となって取り組む「小さな拠点づくり」の推進</p> <p>誇りを持って心豊かに住むことができる「ふるさと」を目指し、シビックプライド*を醸成する武石地域全域公園化構想の推進</p>
② 安心で快適に暮らせる地域づくりの推進	<p>災害緊急時の情報伝達手段と地域の一体感を醸成する放送システムの有効活用を支援</p> <p>消防団と自主防災組織が連携した「自分たちの地域は自分たちで守る」自主防災体制の確立</p> <p>デマンド交通*の維持及び利用の促進と地域のニーズに合わせた運行形態の充実</p>
③ 地域をつなぐ道路交通環境の整備	<p>武石地域と市中心部を結ぶ国道、県道及び幹線市道の安全で安心な道路整備の促進及び推進</p> <p>生活道路や観光ルートの災害復旧及び防災対策を推進し、災害に強い道路網の整備</p> <p>地域住民の生活道路である主要地方道美ヶ原公園沖線の計画的な道路整備の促進</p>
④ 活力ある農業の推進と商工業の連携	<p>農業の担い手となる農業者への支援・育成と、地域全体で農業経営を支える体制の構築及び計画的な農業施設の整備</p> <p>優良農用地を担い手へ集積・集約することによる利活用の促進及び地域全体で取り組む農村環境の保全活動による遊休荒廃農地の解消</p> <p>市場と経営体のニーズを的確にとらえ、農商工及び農福観の連携などによる新たな広がりや支援</p>
⑤ 多彩な地域資源を生かした観光の振興	<p>多彩な観光資源の有効活用と計画的な施設整備、災害復旧を推進し、効果的な観光宣伝と誘客活動による交流人口の拡大</p> <p>友好都市である練馬区との連携によるイベント及び農山村体験を通じた都市農村交流の推進</p> <p>松本市・長和町など関係団体との連携による、美ヶ原高原の周遊性の向上及び自然環境保全と魅力の発信</p>
⑥ 地域に根ざした医療、保健、福祉、介護、子育て支援の充実	<p>医療、保健、福祉、介護、子育て支援など関係機関や団体との連携による地域に根ざした健康づくりの推進と安心して育て暮らせる地域福祉の充実</p> <p>地域の在宅医療を支える武石診療所と二次医療・救急医療の役割を担う依田窪病院などの維持・充実による地域医療体制の確立</p>
⑦ 地域の特性を生かした教育の推進とスポーツの振興	<p>公民館や教育委員会並びに多様な組織・団体との連携による学校支援・子育て支援の充実</p> <p>地域の課題や歴史など生涯にわたる学習機運の醸成と、スポーツの振興、健康・体力づくり活動の充実</p> <p>生涯学習*を推進するための人材育成と公民館活動の充実や施設のバリアフリー化など、きめ細かな教育環境の整備</p>

